

## 令和5年度 第2回 和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会 議事要旨

### 【会議概要】

- ・日 時:令和5年11月24日(金)14:00~15:45
- ・場 所:和泉市コミュニティセンター1階大集会室
- ・欠席者:松下委員、池内委員、櫻井委員、小川委員、仲谷委員、小林委員

### 【次第】

1. あいさつ
2. 委員紹介
3. 議案
  - 1)パブリックコメント募集結果概要及びコミュニティバス運行ルート等の一部改正について
  - 2)槇尾校区 AI オンデマンド運行計画について
  - 3)地域公共交通計画素案について
4. 報告
  - 1)阪和線西エリアへの新たな公共交通導入検討の取り組み状況について
5. その他

### 【議事概要】

#### 1. あいさつ

森吉委員長：本日はお忙しい中、ご出席いただき、また本市の公共交通行政をはじめ、市政にご協力いただき感謝申し上げます。早いもので今年も残り1か月となる中、2024年問題という言葉が話題になっている。様々な課題を抱えている運輸業界において、2024年4月から時間外労働規制が適用されることで2024年問題と言われている。運輸業界が魅力ある職場として働きやすくなることが期待されるが、現状は人員が不足し、最低限の人員をやりくりして現状維持が精一杯な状況である。慢性化する長時間労働とその割に低い労働賃金が相まって負のスパイラルに陥っている。それに加えて、コロナ禍の影響や燃料費の高騰等が追い打ちをかけ、厳しい状況が続いている。このような状況において、公共交通の維持確保には、交通事業者をはじめ、関係機関との連携・協力がより一層必要になる。皆様のご協力・お力添えをお願いしたい。さて、本日は主な内容として、コミュニティバス運行ルートの一部改正、槇尾中学校区 AI オンデマンド交通の運行計画などが主な議題となっており、委員には多様な観点からご審議いただきたい。結びに、本市の公共交通の利便性向上に向けて議論を頂ければ幸いである。

#### 2. 委員紹介

(省略)

### 3. 議案

#### 1) パブリックコメント募集結果概要及びコミュニティバス運行ルート等の一部改正について

(事務局より資料1、2の説明)

伊勢副委員長:事務局からの説明について質問や意見等はあるか。

森吉委員長:市民生活に関する計画を策定した場合、市ではパブリックコメントを実施するが、通常は1~2件程度であるのに対し、今回のコミュニティバスの運行計画においては25件の意見があり、非常に市民に密着した計画であること、関心が高いことがうかがえる。一方で、今回示している素案は一つ一つの要望に対して応えられている訳ではないが、市としては最適な案として考え方を示させていただいており、今回お諮りするものである。

伊勢副委員長:事務局から気になる点について補足いただいても良いが、いかがか。

事務局:(特になし)

伊勢副委員長:これだけ意見が集まると、一問一答ではなく、ある程度意見を集約した形で示して頂けると分かりやすいと思う。今後、ご検討いただきたい。その他、意見が無いようであるので、承認いただいたとして良いか。

(一同了承)

伊勢副委員長:それでは、事務局と事業者においては改正の手続きを進めていただく。私自身、パブリックコメントでこれほど意見をいただいた案件は初めてである。4月の改正における貴重な資料になるので、今回の意見はしっかり記録として整理しておいてほしい。

#### 2) 槇尾校区 AI オンデマンド運行計画について

(事務局より資料3の説明)

園田委員:今回の AI オンデマンドにおける乗降場所は、2ページにあるとおり横山地区と南横山地区内に限定されている。その一方、5ページのイメージには市役所等に行けると書いてある。これはエリア外であり、誤解を招く可能性があるので修正してほしい。

事務局:5ページの「市役所」という表現については、地元説明会に向けて修正させて頂く。

井上委員(代理):4ページの日曜・祝日の施福寺への定時路線の運行について、和泉中央駅から槇尾中学校に向かう路線バスがあり、このダイヤに合わせて時刻を設定されていると思う。今後、南海バスのダイヤ変更や減便、遅延等によって、接続できない可能性があることは利用者の方にもご理解いただきたいと思う。

伊勢副委員長:路線バスの状況に応じて円滑に乗り継ぎ出来るように連携をとっていただき、ダイヤを検討してほしい。乗り換えバス停(槇尾中学校前)での待ち環境の向上もご検討頂ければ幸いである。観光客のことを考慮して定時便を運行するとのことであるが、それ以外の便については会員登録や予約が必要になるのか。

事務局:ネットまたはコールセンターで登録をしていただくことが原則となる。市外からの方についてはワンタイム登録という簡易登録が可能であり、その登録をしていただいた上で行き・帰りとも予約していただくことになる。

伊勢副委員長:市外からの方で乗車希望の場合は何らかの対応で乗車することが可能であると理解した。8ページの評価指標について、目標が高すぎるという議論があったようだが、収支以外の数字の明確な設定根拠はあるのか。

事務局:1月平均利用者数と1便当たりの平均利用者数は令和4年度オレンジバス利用者数の実績を踏まえて設定したものである。会員登録者数は横山、南横山地域の人口から算出している。交通拠点への乗り継ぎについては、オレンジバス利用者の国分峠東や榎尾中学校前での乗降数を考慮して設定している。

伊勢副委員長:会員登録者数以外は基本的にオレンジバスの実績から出されているものと理解した。会員登録者数は地域の人口の何パーセントぐらいか。

事務局:当初、250人/年の登録を積み上げ、5年で地域人口の3割を目指すこととしていたが、年数経過に伴い頭打ちになるとの指摘があり、250人を維持することとしている。

伊勢副委員長:市外の登録もカウントするのか。

事務局:地域内のみでカウントする。

中村委員:8ページの※印に「無償運行の利用状況に応じて」との記載があるが、無償で運行する予定があるのか。

事務局:AI オンデマンドは令和6年2月から運行を開始する予定であり、2月と3月は無償で運行することを考えている。

伊勢副委員長:この評価はいつの時点で評価するのか。無償運行終了後に評価するのか、また別の時期に評価するのか。

事務局:現在、毎年6月、前年度のオレンジバスの実績を横山地区の協議会に報告している。令和6年は6月頃に今年度のオレンジバスと無償運行期間でのAI オンデマンドの実績のご報告を行い、それ以降は毎年6月にAI オンデマンドの実績報告、評価することを予定している。

伊勢副委員長:では、2ヶ月の利用状況を年単位に換算して比較・評価するという解釈でよいか。

事務局:そのとおりである。

伊勢副委員長:他にご意見がないようであれば、AI オンデマンド計画については資料の内容にご承認いただき進めて行くことよろしいか。

(一同了承)

伊勢副委員長:では、本件内容についてはご承認頂いたものとして、来年2月の運行に向けて計画的に進めてほしい。また、関係機関の委員については、事務局の手続きにあたり協力願う。

### 3) 地域公共交通計画素案について

(事務局より資料4-1、4-2の説明)

内田委員:概要の2ページの将来イメージの茶色の線は何を示しているのか。

事務局:主要幹線道路を示している。わかりにくくなっているので、修正する。

内田委員:本編 38 ページについて、和泉市から岸和田市への地域間幹線系統は後々に追記さ

れるということで良いか。

事務局：追記させていただく。

伊勢副委員長：本編 37 ページの表 3-2 で、地域間幹線系統及び市補助路線のところも「地域バス」と表現されているが、71 ページではそのようになっていない。71 ページの表記と統一させたほうが良い。合わせて、70 ページの地域バスの現状にも追記いただきたい。また、地域バスの定義をお示しすることが必要であると思うが、いかがか。

事務局：37 ページは、71 ページの表記に合わせて修正する。地域バスの定義については 37 ページの下部に示しているが、目立つように修正する。

澤村委員：パブリックコメントの意見 24 番に対しては、狭隘道路があり、定時性が保たれないことを理由として記載した方が良いと思うが、いかがか。以前、そもそも通行が難しいところ許可をとって運行していると聞いた。そういう説明をお願いしたい。

事務局：そのような説明を追記する。

伊勢副委員長：目標値について、収支率等は新たな交通を導入することを踏まえて算出していると思うが、具体的にどのように計算されているのか。

事務局：槇尾校区の AI オンデマンドは概ね運行計画が定まっているので、その内容に応じた目標として計算している。阪和線西については具体的な運行計画が定まっていないので、現時点においては槇尾校区と同様として試算している。

伊勢副委員長：今回示されている計画も今後のパブリックコメントに応じて修正されると思う。本日、初見の委員も多いと思うので、期限を決めて意見を収集してはどうか。

事務局：各委員においては、年内を期限に事務局まで意見をいただければと思う。それを踏まえて年明けにパブリックコメントを実施したい。

伊勢副委員長：年末のお忙しい中ではあるが、ご意見頂ければ幸いである。その他、意見が無いようであるので、基本的には、本日の素案をベースにパブリックコメントを実施したいと思うが、よろしいか。

(一同了承)

伊勢副委員長：では、事務局においては計画的に手続等を進めてほしい。

#### 4. 報告

##### 1) 阪和線西エリアへの新たな公共交通導入検討の取り組み状況について

(事務局より資料 5 の説明)

伊勢副委員長：事務局からの説明について質問や意見はあるか。

廉林委員：国レベルでデマンド交通を本格的に検討していると思うが、阪和線西エリア以外の地域への展開について答えられる範囲で教えてほしい。

事務局：地域公共交通計画素案にお示したように、フローチャートに合わせながらコミュニティバスや路線維持バスを利用状況に応じてデマンド交通に切り替えることをイメージしている。今の段階で具体的な地域はお答えできる状況にはないが、現在の利用状況を踏

まえながら検討していきたいと考えている。

伊勢副委員長：阪和線西エリアにおけるワークショップの報告資料について、参加者の意見をまとめて示されているが、どこの校区からの意見であるかわかるように示してほしい。恐らく、校区ごとに特徴的な意見が挙げられていると思うので、次回以降、配慮いただきたい。もし校区による温度差があるようであれば教えてほしい。

事務局：3校区でAIオンデマンドに対する関心度が異なることを把握できた。初回のワークショップを終えて、特に、繋和町は公共交通への興味が高かったと理解している。

伊勢副委員長：細かな意見をみると、タクシーが家の前まで来ないとの声があった。自宅前まで車両が通れないのであれば、オンデマンドタクシーの導入も難しくなる。ということを踏まえて、グリーンスローモビリティなどのカートタイプの車両で循環運行としていく可能性もあるのではないかな。

事務局：自宅前までタクシーが乗り入れないとの意見について、ドアツードアの運用は難しく、地域内に乗降場所を定めて運用することになる。それによって乗り合いが増え、効率的な利用につながると考えている。

伊勢副委員長：特に、意見が無いようであるので、報告については以上とする。

## 5. その他

特になし

## 6. 閉会

事務局：本日は長時間にわたり熱心に議論いただき、感謝申し上げます。これにて本日の和泉市公共交通活性化プロジェクト委員会を閉会する。

以上

### 【会議の様子】



